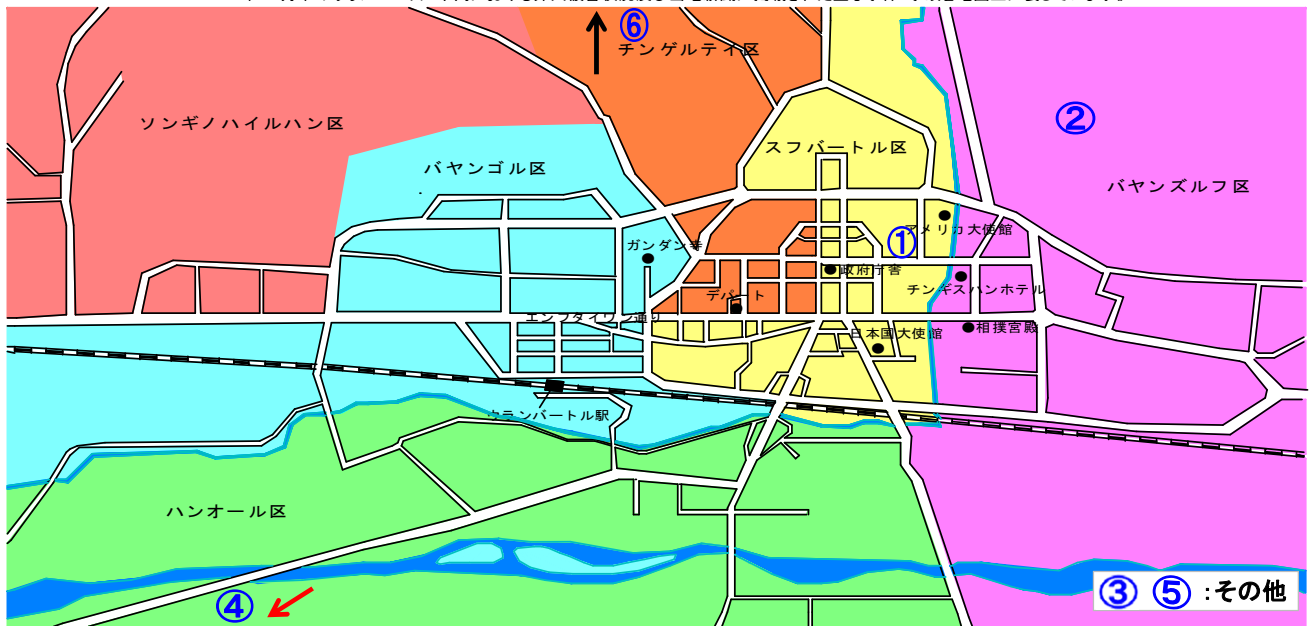


UB CITY 安全情報 (2019年11月号)

2019年10月中のウランバートル市内における邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています。



※邦人被害状況（大使館調べ）

事件発生日時	事件発生場所	状況
① 10月7日夜間	スフバートル区第6ホロー 飲食店内	邦人が店内に置き忘れたカードケース（現金、クレジットカード在中）から、現金を抜き取られたもの（占有離脱物横領罪）。

※当国新聞掲載事件・事故

掲載日(任国新聞)	場所	被害者(性別・年齢等)	犯人(性別・年齢等)	内容
② 10月14日 月	バヤンズルフ区 第22ホロー地内の道路上	11歳少女	詳細不明	交通死亡事故：12日(土)、バヤンズルフ区第22ホロー地内の路上で、トヨタプリウスの運転手が道路を歩いていた11歳少女をはねて死亡させる交通事故が発生した。交通警察は運転手から事情を聴取し、詳しい事故原因などを捜査中である。
③ 10月14日 月	セレンゲ県 アルタンボラグ国境検問所		モンゴル人2名 (性別等不明)	武器の密輸未遂：セレンゲ県のアルタンボラグ国境検問所において、ロシアから入国しようとしたモンゴル人2名が自動小銃1丁と銃弾89発及び手榴弾2個を隠し持っているのを国境警備庁職員が発見した。現在、同2名は武器密輸の容疑で事情聴取を受けている。
④ 10月14日 月	ハンオール区 チンギスハーン国際空港内		ロシア人 (性別等不明)	多額現金の持込み(税関未申告)：ソウル発ウランバートル着の航空機で入国したロシア人は、税関当局に申告せずにカバンの中に15万米ドルを隠し持っていたため、税関当局に15万米ドルを没収され、その15%に相当する金額(約2万3,000米ドル)の罰金を科された。同人は税関当局のブラックリスト掲載者であることが判明している。
⑤ 10月17日 金	モンゴル全国各地		モンゴル人青少年 (高校生13名、大学生29名)	青少年の薬物犯罪の増加：先月、外国人英語教師2名が薬物の使用・販売の容疑で逮捕されるなど、当地の教育業界に携わる者の間でも禁止薬物が蔓延している状況がうかがえる。モンゴル警察庁薬物対策局によると、現在までのところ、全国各地で高校生13名、大学生29名が薬物事件に関与したとして、取調べを受けている。
⑥ 10月21日 月	チンゲルテイ区 山間部の道路上	内務学校職員 (死亡者7名、負傷者20名以上)		大型バスによる交通死亡事故：19日(土)、チンゲルテイ区の間部を走行していた大型バスによる交通事故が発生し、乗車していた内務学校職員33名のうち、7人が死亡、20人以上が負傷した。警察当局によると、事故原因はブレーキの故障であることが判明している。

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	強姦	薬物犯罪	詐欺	誘拐/行方不明	その他	合計
スフバートル区					1							1
ソングノハイラルハン区												0
チンゲルテイ区											1	1
ハンオール区											1	1
バヤンゴル区												0
バヤンズルフ区											1	1
その他(不明等)								1			1	2
合計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	6

・国境検問所での武器の密輸未遂事件（上記③）及び外国人が税関に申告せず多額の現金をモンゴル国内に持ち込もうとして検挙される事件（上記④）が発生しています。現在、モンゴルではテロ対策のため、国境や国際空港での出入国審査時における所持品検査を強化していますので、モンゴルに渡航される旅行者やご不明な点がある方につきましては、事前に当館が作成した安全対策基礎データ (https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_019.html) で出入国時の注意事項をご確認願います。最新情報については、駐日モンゴル大使館（03-3469-2088）、モンゴル入国管理局（+976-1800-1882）及びモンゴル税関（+976-1800-1281）にお問い合わせください。